

ガス石油機器PLセンター

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-11-17パークリュクス神田多町2F

TEL 03-6811-7350 / FAX 03-6811-7351

【1】相談受付の概要

(1) 受付件数

受付件数は12件。

(2) 相談事例

◇ 一般相談

相談1: 2年前に自然通気形開放式石油ストーブを購入した。そのまま2シーズン使用し、今シーズンも大体灯油を使い切った4月上旬に、空焚きまではせずそのまま箱に入れて保管した。ストーブの中に灯油はほんの少し残っていたと思う。先日、家の片づけでその箱を移動しようとしたところ、灯油が漏れ、箱の外までしみ出していることに気がついた。機器のどこかから漏れ出したのかと思い、メーカーに連絡したが、「灯油を完全に抜かずに保管したことが原因。誤使用のため対応できない。」と言われてしまった。機器は2階に置いてあり、保管のため階段を使用して、給油タンクを抜かず1階まで移動させたことはあったが、ただ保管していた機器から1か月ほどの間で灯油が漏れるのであれば、使用中も漏れていた、もしくは漏れる可能性があるのではないかと。大変危険であり、メーカーの説明に納得できない。

対応1: 当該石油ストーブのJIS規格では、製品を10度傾けて漏れないという安全基準がある。通常、給油タンクを外した際や、運搬時の振動などで、内部の固定タンクから漏れた灯油は油受け皿に溜まり、ストーブの下の床や、燃焼部(熱くなる部分)に灯油が触れて火災になるのを防いでいるが、本体が大きく傾くと、この油受け皿から灯油が溢れ、漏れてしまうようだ。製品の取扱説明書を確認したところ、「持ち運ぶときは消火し給油タンクを抜き、傾けないように静かに運ぶこと。特に階段などでは油漏れのおそれがある。引越し等の運搬時は必ず給油タンクを取り出し、油受け皿内の灯油を抜くこと。傾けたり、横倒しの状態で運搬は禁止。」との記載がある。状況から考えると、2階から1階まで給油タンクを取り外さずにストーブを移動した際、機器を傾けたため灯油が漏れた可能性が高い。今後は移動の際には必ず給油タンクを取り出し、油受け皿の灯油も抜いていただきたい。またシーズンオフには必ず取扱説明書の「保管の仕方」にしたがって、灯油を使い切った後でタンクや受け皿に残った灯油もポンプなどを使って抜いてから保管してほしい。今回漏れた灯油は、きれいに拭きとり、内部に残った灯油も抜いてしまえば、来シーズンからまた安全に機器を使用することができる。以上を説明したところ、納得されたため相談終了とする。

相談2: 2024年春、石油給湯機を新しい機器に交換した。住居は寒冷地で、屋内の脱衣所に設置し、風呂・洗面・キッチンで使用している。設置業者には前と同じ型であるといわれて選んだ機器である。その給湯機がたびたびエラーコードが表示され湯が出なくなる。設置業者に機器の不具合はメーカーへと言われたため、メーカーのコールセンターに連絡し、指定のサービスショップが複数回、点検・修理に来ている。サービスショップはこれまでにストレーナーエアークami合わせ確認とエア抜き、電源ポンプの交換、バーナーセットの交換などを行った。また、オイルタンクや送油管が古く汚れていること、給気不足などを指摘されたため、自身で普段機器のメンテナンスをされている店に依頼して、オイルタンクの清掃、フィルターと送油管の交換を行い、脱衣所にはサーキュレーターを置いた。しかし、不具合は改善しない。ただエラーが起きるのは寒い時期、10月～4月くらいの間だけで夏季は起きない。また機器交換前はこのような不具合はなかった。近々またサービスショップが点検に来ることになっているが、修理箇所によっては有償になるかもしれないと言われている。取り付け当初から不具合があるのに有償修理と言われ対応に納得できない。

対応2: 機器の型番を確認したところ、現在取り付けてある石油給湯機はFE式であり、燃焼用の空気を室内から取り込み、排気を屋外へ出す仕様になっている。エラーコードは「不完全燃焼の可能性」とあり、機器の設置場所が寒冷地の屋内脱衣所であるため、給気が足りず機器が不完全燃焼を感知して運転停止になることが考えられる。給気を補うためサーキュレーターを設置したようだが、密室であればその場の空気を攪拌しているだけであり、給気不足の解消にはならない。設置環境から、以前の機器はFE式ではなくFF式だった可能性があるため、設置場所と選んだ機器が適合しているか確認し、点検を受けることをお勧めする。当センターは業者との交渉に入ることはできないが、技術的な助言が必要であれば応じることを伝え、その後連絡がないため終了とする。

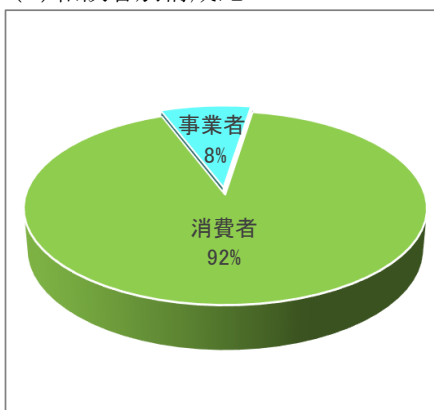
【2】受付実績合計

(1) 2026年5月度

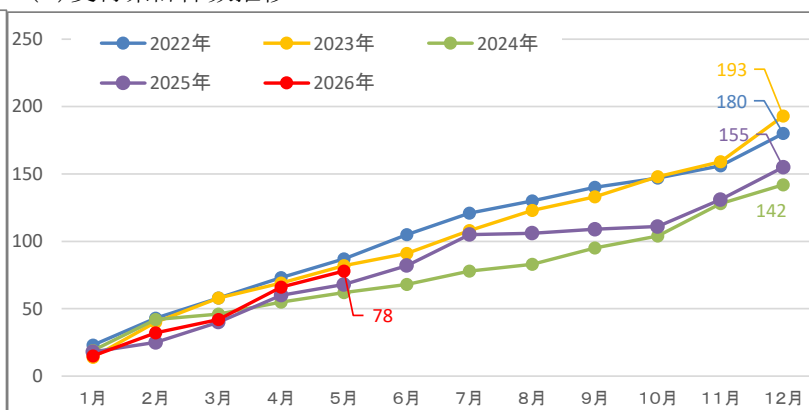
相談者/内容	事故クレーム	品質クレーム	一般相談	計 (前年実績)	累計 (前年累計)
消費者	0	0	11	11 (5)	47 (41)
事業者	0	0	1	1 (0)	21 (13)
司法・行政	0	0	0	0 (3)	10 (14)
その他	0	0	0	0 (0)	0 (0)
計 (前年実績)	0 (0)	0 (0)	12 (8)	12 (8)	78 (68)
累計 (前年累計)	0 (0)	0 (1)	78 (67)	78 (68)	

※累計は1-5月

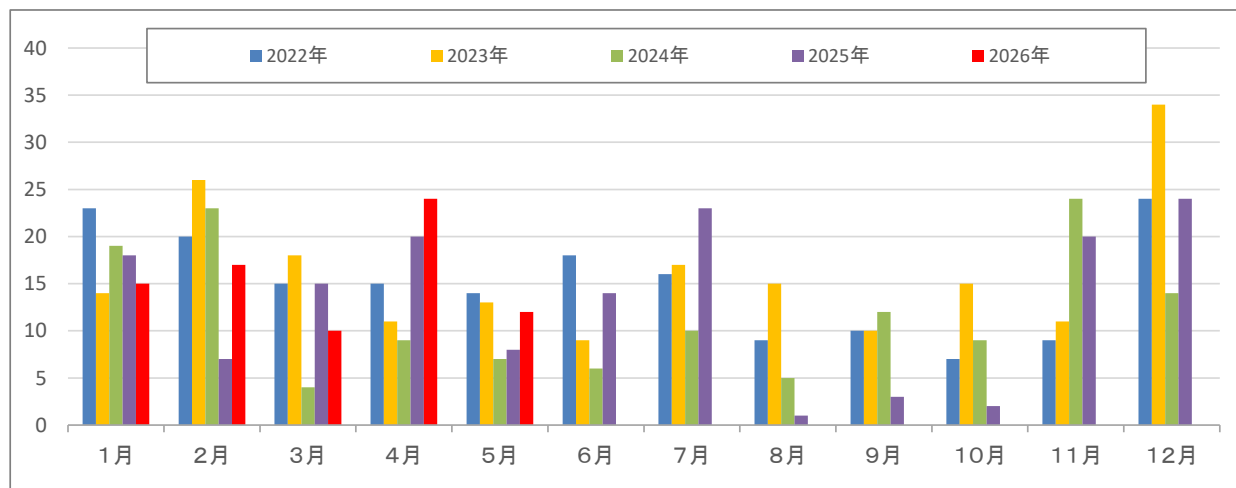
(2) 相談者別構成比



(3) 受付累計件数推移



(4) 月別受付件数推移



【3】主な関係行事

今月は0件。

【4】未解決の案件処理状況(インフォメーションで掲載した事故案件)

5月度の未解決案件処理件数は0件。

以上